

ア. 列車事故

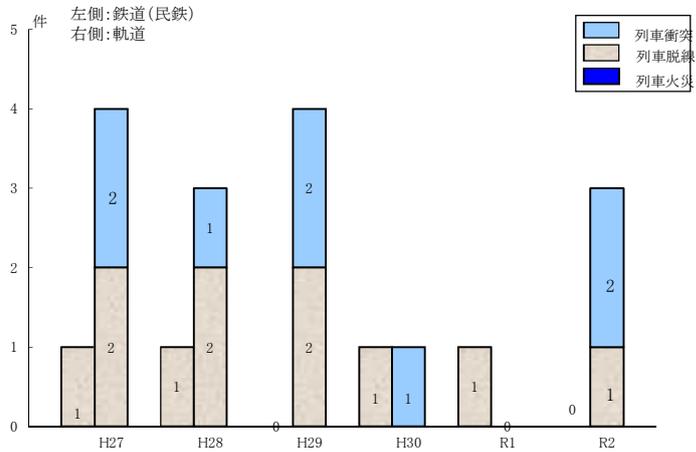
令和2年度の発生件数は、表-2及び図-8のとおり、軌道3件であり前年度より2件増加した。事故の種類別に見ると、列車衝突事故2件、列車脱線事故1件が発生している。

表-2 列車事故原因推移

原因	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
部内	取						
	扱						
	鉄道						
	軌道	2	2	2	1		2
部外	車						
	施						
	軌道	1	1		1		
	軌道	1	1	2			1
災害	その他						
	鉄道						
	軌道					1	
	軌道						
計	鉄道	1	1	0	1	1	0
	軌道	4	3	4	1	0	3

(注) 列車事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故(軌道における車両衝突事故、車両脱線事故、車両火災を含む)を総称している。

図-8 列車事故種類別件数の推移



イ. 踏切障害事故

令和2年度の発生件数は6件と前年度(9件)より3件減少している。種類別では、第1種踏切において2件減少、第4種踏切において1件減少している。

原因別は、図-12のとおり、直前横断は前年度より1件減少の3件、エンスト・その他は前年度(4件)より2件減少した。

図-9 踏切道種類別事故件数の推移

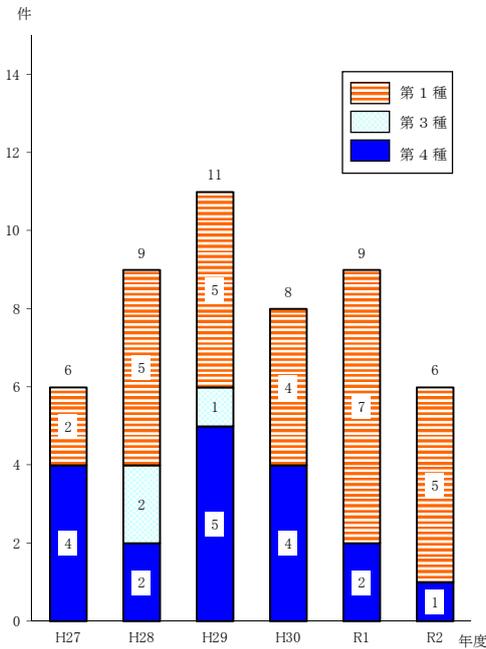


図-10 踏切道数 (令和2年度)

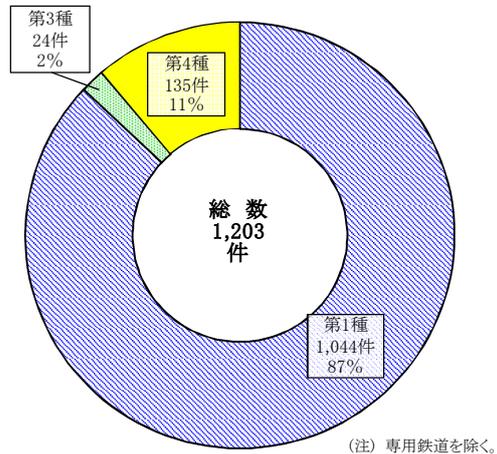


表-3 踏切道種類別事故件数、踏切道 100ヶ所当たりの事故件数の推移

踏切道種別	踏切道数		事故件数		踏切道 100ヶ所当たりの事故件数	
	R01年度	R02年度	R01年度	R02年度	R01年度	R02年度
第1種	1,044	1,045	7	5	0.67	0.48
第3種	24	22	0	0	0.00	0.00
第4種	135	134	2	1	1.48	0.75
合計	1,203	1,201	9	6	0.75	0.50